

E
エッセイ
Essay.青少年国際交流団体
「L.S.E.言語交流会」
40周年を迎えてL.S.E.言語交流会
会長 長屋洋子

子供たちの心は友情を育て、どこまでも平和へと続く!
未来は若者たちの手に…!未来は子供たちの手に…!

Friendship between the children of the world is
the seed of World Peace! The future is in the
hands of the young people! The future is in the
hands of the children!

童心傳友誼世代為和平! 未来是属干青年們的!未
来是属干孩子們!

わずか10人足らずの幼児、そのご家族と共にこのよ
うなスローガンの下、1970年L.S.E.言語交流会を開設
し、本年40周年を迎えようとしています。長い時が流れ
ました。

「桜の花の種を蒔き、芽が出て、葉が付く、花が咲く
長い時間をかけて満開の花が咲いた! 沢山の花が
咲いた! 雨にも負けず、風にも負けず、嵐にも負けず、
世界中に咲き続ける」

1970年代、世の中は「国際化時代」と叫ばれる時
代を迎えました。単一民族、単一言語の私たち日本人
が世界情勢を直視し、もはや国境を超えた「地球人」
として意識を持たなければいけない時代になっていき
ました。まず世間では、物、金融の国際化の変革が著
しく揺れ動いていきました。こんな中で私たちは、日本
人という枠を取り外し、国際感覚豊かな人を増やし、「平
和への願い」を基礎とする国際人を育てることこそ、
国際交流を意味づけ発展させるものと思ひ続け、この
精神を軸として民間交流団体L.S.E.言語交流会を開設
しました。

長い時の流れの中で、多くの温かい心の出会い、
大きな友情の輪が広がりました。この豊橋から、アメリカ、
カナダそして中国へと…特に30年前から開始された
中国での本格的なホームステイを実現できたことは画
期的なこととなり、多くの青少年の心に「心の国際化」
の意味を、この交流を通し実感させることができたと確
信しています。

「心の国際化」とは、自と他との平和的共存であり、
その「違い」ゆえに他を受け入れ、愛し、そして分かち

合う精神と言えます。

L.S.E.の活動を通して子供たちは多くのことを学び
ました。外国の言葉を超えたところで、外国の考え、習
慣を受け入れ、お互いに「分かち合いの精神」を身に
付けました。特に中国との「本格的ホームステイ交流」
実現という輝かしいページを開くことができたことは、
青少年の心に「真の国際化」を考える最高の機会と
なつたでしょう。この実現に向け、中国要人の張香山
先生(勳一等瑞宝章受章・日中友好21世紀委員会中
国側首席)からのお言葉「万事始まりが難し」「新生
の力は偉大なる前途を持つ」「最初の創意は尊いも
のであり、また重要な意義を持つ」は、今も尚、私たち
L.S.E.言語交流会会員の大きな誇りであり、励ましとな
っています。



1980年 L.S.E.生徒とともに(長屋さん前列左端)

ここ数年の中国の急速な発展に目を見張り、L.S.E.
卒業生の多くがアメリカ、カナダにとどまらず、中国で活
躍していることも嬉しく思います。そして一衣帯水の隣
国として日中両国の友好がまた深まることを願っていま
す。

行政にやって頂きたいことを「一民間団体L.S.E.言
語交流会」が40年間継続し、大きな成果を出せたこと
は、日本、アメリカ、中国、カナダの多くの方のご支持、ご
支援のお蔭と心より感謝申し上げます。

40周年を記念し、本年11月21日(日)にささやかなが
らも心をこめてイベントを計画中です。ご出席頂けれ
ば幸いです。